

4 自主事業

(1) 環境施設等親子見学会

目的	親子で環境にやさしいエネルギーについて学習し、地球温暖化に関心を持ち、行動につなげる
内容	環境にやさしいエネルギー等の見学・学習を実施。
場所	横浜市内
対象	横浜市内の親子等
期間	令和4年3月予定
予算	50千円
募集方法	市の広報
協力団体等	公益財団法人資源循環公社等(バス代は公社支払い)

(2) 排水油脂、廃食油フードグリーン発電普及プロジェクト

目的	エネルギー自給率18%の日本において、飲食店・フードコート等で廃棄される排水油脂、及び家庭・スーパー等で廃棄される廃食油を回収し、エネルギーとして有効活用を図り、二酸化炭素排出削減を実践する。 排水油脂提供事業者、廃食油回収の区役所、自治会・町内会、市民団体等と連携する。
内容	1) 廃食油・排水油脂回収により、zero carbon yokohama 取組者の拡大を図る ① 廃食油 自治会・町内会、団体、お店等における定期回収の実施。 区役所、自治会・町内会、大学、団体等イベントでの回収。 普及・PR手段としての廃食油を活用したキャンドルづくり。 ② 排水油脂 市内飲食店、フードコート等と連携した排水油脂の回収 2) 役割分担 ①協議会：関係機関との調整、回収の普及啓発・報告及び回収拠点との契約 ②事業者：回収の実務、燃料化に向けた技術的検討、再燃料化検討
場所	市内各所
対象	市内飲食店、フードコート、区役所、自治会・町内会、イベント、大学祭等
期間	令和3年6月～令和4年3月
予算	100千円
協力団体等	会員企業 TBM 社、信愛エナジー合同会社、ケンタッキーフライドチキン 区役所、自治会・町内会、大学等、飲食店、フードコート、食品会社

(3) 関内地域におけるエコタウン化事業

(大学・企業課題解決マッチング会実現化事業の実践)

目 的	関内まちづくり振興会のビジョンに位置づけられた「関内エリアのエコタウン化」と平成元年協議会開催の「大学・企業課題解決マッチング会」における関内まちづくり振興会の課題への横浜国立大学学生の提案を基に、その実現化をめざす。
内 容	1) 取組テーマ ①ビル等の省エネ効果測定 ②ビル等の再生可能エネルギー・低炭素電力の普及 ③排水油脂、廃食油の回収 2) 振興会イベントとの連携 3) モデル取組の実施 4) 推進体制を作り実施 関内まちづくり振興会メンバー 横浜国立大学氏川ゼミ 独立行政法人産業総合研究所上級研究員 カーサー資源・エネルギー部門 パタゴニア Silva 等会員団体 事務局;協議会事務局、関内まちづくり振興会の中は振興会理事
場 所	関内まちづくり振興会エリア、吉田町町内会
対 象	ビル、お店、自治会町内会等
期 間	令和3年6月～令和4年3月
予 算	80千円
協力団体等	会員企業、団体、大学、研究機関等

(4) マッチング会終了後のフォローアップ事業

目 的	令和1年2年3年と実施の企業等×学生の環境課題解決マッチング会終了後の学生の取組へのフォローアップ
内 容	1) 今年度のフォローアップ ①協議会自主事業（マッチング会とは関係がなく）となり得るプロジェクトについて適宜支援する 関内まちづくり振興会、一戸町への国大生の提案は自主事業へ、フェリス女学院大学の横浜市への提案は協定事業へ
場 所	横浜市内等
対 象	関係機関
期 間	令和3年6月～令和4年3月
予 算	70 千円
協力団体等	各大学ゼミ等

(5) 岩手県一戸町との連携事業

目 的	令和元年実施の企業等×学生の環境課題解決マッチング会において、一戸町の課題に横浜国立大学の学生が提案をしたことをきっかけに、令和2年度の一戸町からの委託を受けて実施した横浜市内及び関内エリアにおいての、横浜市・一戸町が推進する zero carbon の推進に向けた低炭素電力普及の継続。
内 容	テーマ 1) 低炭素電力の普及 2) 実施内容 ①学習会の開催 2回 ②イベントへの参加 2回 ③エコツアー 2回
場 所	関内エリア及び横浜市内
対 象	企業・市民・こどもたち
期 間	令和3年6月から令和4年3月
予 算	80 千円
協力団体等	一戸町、関内まちづくり振興会、吉田町町内会、横浜国大氏川ゼミ等

(6) 気候市民会議への参加・協力

目的	市民の生活に大きな影響を与える脱炭素社会への転換をどのように進めるべきかについて、幅広い議論の場として、各界、各層に呼びかけた「気候市民会議」への立ち上げへの協力
内容	多様な組織と連携して気候市民会議の立ち上げ、運営に参加・協力し、会員やFace book チームゼロの参加者、市内で活動するNPO、区民まつり参加者等に参加を呼び掛ける。又、学者や研究機関等と連携する
場所	横浜市内
対象	会員、Face book チームゼロ参加者、市内で活動するNPO、区民まつり参加者等
期間	令和3年6月から令和4年3月
予算	150千円
協力団体等	会員企業・大学・団体・個人、FACE BOOK 参加団体・企業等

(7) 関東地域温暖化対策地域協議会交流会

目的	関東地域の温暖化対策地域協議会と連携して、取り組みの共有を図る。
内容	地球温暖化対策地域協議会情報共有事業への参加
場所	今年度の事務局となる地域で開催
対象	横浜市地球温暖化対策地域協議会会長・副会長・事務局、横浜市
期間	令和3年6月～令和4年1月
予算	10千円
募集方法	全体事務局の市川市から各協議会によびかけ。
協力団体等	横浜市